

2021. 8.26

【Communiqué 3 / 大会特別規則】

2021年(公財)日本自転車競技連盟の規則を適用する。

第1条 (スプリント)

- (1) 予選上位12名による1/8決勝から開始する。
- (2) 1/8決勝、1/4決勝はそれぞれ1回戦制とする。
- (3) トラック2周で行う。

第2条 (ケイリン)

- (1) 333mのトラック5周で行う。
- (2) ペーサは残り2.5周回のバック側中央線で離脱する。
- (3) 1回戦の各組2位までが1/2決勝へ進む。
- (4) 敗者復活戦は4組で行い、各組上位1名が1/2決勝へ進む。
- (5) 1/2決勝の各組上位3名が決勝へ進む。
- (6) 7-12位決定戦は行わない。

第3条 (タイムトライアル、インディヴィデュアル・パーシュート)

- (1) ホーム、バックの中央線から2名による同時スタートとする。
- (2) 女子ジュニア、ユースのインディヴィデュアル・パーシュートにおいてはHのみのスタートとする。
- (3) タイムレースによる一発決勝とし、追い抜きがあった場合でも両者完走し、タイムを計時する。
- (4) 相手競技者に追い抜かれた競技者は、その直後を追走することができない。また再度追い抜きをすることもできない。その場合は失格とする。

第4条 (チーム・スプリント、チーム・パーシュート)

- (1) ホーム、バックの中央線から2チームによる同時スタートとする。
- (2) タイムレースによる一発決勝とする。
- (3) 出走選手リストを当該競技開始1時間前までに書面で招集に提出すること。
- (4) 女子チーム・スプリントは、2名でチームを構成する。

第5条 (ポイント・レース)

- (1) 30km (90周回)、スプリント数15回で行う。
- (2) 認められる事故が起きた場合のニュートリゼーションは4周回まで与えられる。
- (3) ニュートリゼーション中にレースが最後の1km (最終3周回)に入った場合は、競走に復帰できない。

第6条（オムニウム）

- (1) スタート位置は各ラウンドのスタートリストに示された位置とし、内側の競技者はホルダーによって支えられる。
- (2) テンポレースは最初の3周回完了後に、スプリントラップ開始のベルを鳴らす。
- (3) 棄権した競技者はDNFとして次の種目への出場はできない。
- (4) スクラッチ・レースとテンポ・レースにおいて、2周回追い抜かれた競技者は除外される。
- (5) エリミネーション以外の種目において除外された競技者は、40ポイント減算のペナルティが与えられる。
- (6) エリミネーションは、1周回の競技外周回を経た正式スタートの後、毎周回除外を行う。
残り2名が確定したら、ベルを鳴らし最終周回を示す。

第8条（バイク・インスペクション）

- (1) 出走10分前までに招集でバイクの検査を受けること。
- (2) ジュニアのギア比は制限しない。

第9条（セレモニー）

- (1) 表彰式には、公式な服装で臨まなければならない。
公式な服装とは、競技用の装備またはチームウェアを指す。なお、サンダル履きを厳禁とする。

第10条（その他）

- (1) タイム・レースにおいては、競技中各チーム1名までコーチとしてトラック内の立ち入りを認める。
- (2) 主催者の撮影許可を受けていない者のトラック内での撮影は禁止する。
- (3) 次発走の競技者は、発走準備を整えてスタート付近に待機すること。
- (4) スターティングマシンを使用するスタートでは、50秒のカウントダウンを行う。
- (5) フィニッシュした選手、除外された選手は、速やかにトラックから離れ、インフィールドに退避すること。
- (6) スプリント、ケイリンの競技者、およびスクラッチ、ポイントレース、オムニウムで走路内側からスタートする競技者のホルダーはチームより供出すること。
- (7) ゼッケン・ホルダーを使用する場合は、ゼッケンの折り込み、変形等は認めない。（ペナルティの対象）
ゼッケン・ホルダーに収まらない場合は、ゼッケンを安全ピンで止めること。

以上

チーフコミッセール 清水 一孝

主催・主管： JBCF(一般社団法人全日本実業団自転車競技連盟)

後援： 一般社団法人日本競輪選手会 / 松本市

ツアー協賛： (株)シマノ/シマノセールス(株)/パナソニックサイクルテック(株)/(株)あさひ/(一社)自転車協会/
(株)パールイズミ / 弱虫ペダル

協力： 長野県車自転車競技連盟